

Orchestra

大植のタクトが唸る、スペクタクルな自然賛歌

**大阪フィルハーモニー交響楽団
第47回東京定期演奏会**

OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

指揮: **大植英次** ピアノ: **フランチェスコ・ピエモンテシ**
EIJU OUE FRANCESCO PIEMONTESE

2010年2/20(土)14:00 サントリーホール

シューマン: ピアノ協奏曲 イ短調 op. 54
R. シュトラウス: アルプス交響曲 op. 64

S ¥7,000 A ¥6,000 B ¥5,000 C ¥4,000

学生 ¥3,000 (カジモト・プラスのみ取扱い、当日開演1時間前より座席引換。) 主催: (社)大阪フィルハーモニー協会

大植=大フィルの名コンビが、「アルプス交響曲」を掲げて登場! アルプスの自然と登山者の感情を描いたこのスペクタクル大作は、オーケストラの醍醐味を満載。抜群の表現力を誇る大植のタクトと相まって、ぜひ生で体験したい名曲です。ピアノのピエモンテシは、26歳にしてウィーン楽友協会やカーネギーホール等に出演している逸材。こちらにも注目です。



Chamber Music

10人の世界的名手が贈る、ブリリアントなクリスマス!

**10人のミラクル・トランペッター クリスマス・コンサート
TEN OF THE BEST**

12/23(水・祝)14:00 東京オペラシティ

S ¥6,500 A ¥4,500

クリスマス・ファンファーレ/C線上のアリア/ザリトル・ドラーマー・ボーイ/アウェイ・イン・ア・メイジャー/シルバール・ベル/もろびとこぞりて/ホワット・チャイルド・イズ・ティス/ジン・グール・ベル/きよこの夜/御身が共にいるならば/トランペッター・トッカータ/トルコ行進曲/ラルゴ 交響曲第9番「新世界より」第2楽章/ヴェニスの謝肉祭/マリア「ウエストサイド・ストーリー」から/ハロードリー/心の愛/サンチェスの子供たち/マイ・ウエイ

欧米各地から10人の世界的トランペッターが顔を揃えた、豪華でユニークなアンサンブル。5種類のトランペットを駆使した華やかな色彩感と多彩なアレンジで、クリスマス・ソングからクラシックまで、誰もが知る名曲の数々をお届けします。ブリリアントでミラクルなそのステージは毎回大人気。クリスマス・コンサートはこれで決まりです!



ウィーン・フィルのエッセンスが香る、至福のニューイヤー

東京都民銀行スペシャル 主催: ニッポン放送 協賛: 東京都民銀行

**ウィーン・リング・アンサンブル
ニューイヤー・コンサート**

WIENER RING-ENSEMBLE

2010年1/6(水)19:00 サントリーホール

S ¥9,000 A ¥7,000 B ¥5,000

J. シュトラウスII: オペレッタ「ジプシー男爵」序曲/ワルツ「レモンの花咲くところ」/エジプト行進曲/ワルツ「ウィーン気質」/ホルカ・シュレー「ハンガリー万歳」/オペレッタ「ヴェネツィアの一夜」序曲/ワルツ「ウィーンの森の物語」/トリツチトラッチ・ホルカ
ランナー: マリアのワルツ
レハール: オペレッタ「メリー・ウイドウ」から/唇は黙していても ~ワルツ・メドレー/
女の研究はむずかしい ほか

名コンサートマスター、ライナー・キュッヒルを中心に、ウィーン・フィルの腕利きメンバーが9名顔を揃えて、ウィンナ・ワルツやホルカを愉しく奏でる。本場の定番アンサンブル。2010年もまた、ウィーン・フィル「ニューイヤー・コンサート」の余韻さめやらぬ内に日本へ駆けつけ、現地の香りを伝えてくれます。贅沢なサウンドで幸福感一杯の新年を!



String

竹澤恭子デビュー20周年シリーズIII

**竹澤恭子 ヴァイオリンリサイタル
~敬愛なるブラームス~**

KYOKO TAKEZAWA
ピアノ: **イタマル・ゴラン**
ITAMAR GOLAN

12/5(土)19:00 サントリーホール

S ¥6,000 A ¥5,000 B ¥3,000

ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ 第1番~第3番

2007年にスタートした、デビュー20周年シリーズの最終回。約20年前に日本での本格的なデビューリサイタルを果たした、ゆかりのサントリーホールで、ブラームスの3大ソナタを熱演します。共演者には、多くの世界的なソリストから厚い信頼を寄せられているイタマル・ゴランを迎え、華麗なステージをお届けします。



年末に心清まる、和波の「バッハ無伴奏」の世界

**和波孝禧 クリスマス・バッハシリーズXVIII
無伴奏ヴァイオリンソナタ&パルティータ**

TAKAYOSHI WANAMI
12/26(土)18:00 東京文化会館 小ホール

全指定席 ¥4,500

ヨハン・セバスティアン・バッハ:
無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第1番 口短調 BWV1002
無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ短調 BWV1003
無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第3番 ホ長調 BWV1006

「バッハの音楽を通じて、過ぎ去る年に思いを馳せ、新しい年を迎える希望と喜びを分かち合いたい」との願いで続けられている「クリスマス・バッハシリーズ」の18回目。今回は、昨年に続いて、モダン楽器による無伴奏作品を3曲お送りします。和波が奏でる至高の名品の感動で心を浄化させ、気分も新たに新年を迎えましょう。



Piano

ウィーンの若き巨匠が、ベートーヴェンのソナタ全曲でその真価を発揮する。

**ティル・フェルナー
ベートーヴェンピアノ・ソナタ全曲演奏会 第II期**

TILL FELLNER
12/19(土)17:00 トツパンホール

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 全曲演奏会 第5回
第12番 変イ長調 op. 26/第13番 変ホ長調 op. 27-1/第14番 嬰ハ短調 op. 27-2「月光」/第22番 へ長調 op. 54/第21番 ハ長調 op. 53「ワルトシュタイン」

2010年4/24(土)17:00 トツパンホール

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 全曲演奏会 第6回
第9番 ホ長調 op. 14-1/第10番 ト長調 op. 14-2/第8番 ハ短調 op. 13「悲愴」/
第11番 変口長調 op. 22/第26番 変ホ長調 op. 81a「告别」

[両日共] 全指定席 ¥7,000 共催: トツパンホール

30代のピアニストの中で最も囁きられるフェルナーが、東京、ニューヨーク、ロンドン、パリ、ウィーンで行っているベートーヴェンのソナタ全曲演奏会も、いよいよ佳境に。12月は「月光」「ワルトシュタイン」、4月は「悲愴」「告别」など、おなじみの名曲が次々と登場します。その新鮮な解釈は、回を重ねるごとに充実一途。ますます聴き逃しません。



**圧倒的感銘を与えたアバド／ルツェルン祝祭管
～ルツェルン・フェスティバル in 北京レポート～**

去る9月のシルバーウィークに、中国にてルツェルン・フェスティバルin北京が開催され、アバド率いるルツェルン祝祭管らによる計6回のコンサートが行われました。

2006年ルツェルン・フェスティバルin東京での名演が記憶に新しいアバド／ルツェルン祝祭管ですが、その圧倒的な感動体験を、今度は北京にもたらしました。東京にも出演したラヘル・ハルニッシュの透明感漂うモーツァルトのアリア、地元出身の俊英ピアニスト、ユジャワンの熱気を帯びたプロコフィエフ、そして中国が世界に誇る作曲家タン・ドン・ソンの自作自演(演奏は、マーラー・チェンバー・オーケストラ)の「Earth Concerto」など、様々なプログラムが上演され、中国では初の大規模な音楽祭となりました。

注目のアバドは以前にも増してエネルギーで、

盟友ルツェルン祝祭管とマーラーを熱演。マエストロと奏者たちの尊敬や友情という見えない糸での繋がりが音となって迫る様子は、まさに圧巻というほかなく、終演後には満場総立ちの大喝采が贈られたのです。

本拠地スイスだけでなく、ヨーロッパ、アメリカ、アジアと活動の幅を広げるルツェルン・フェスティバルから、まだまだ目が離せません。

ルツェルン日本友の会へのご入会はこちら...

FAX: 03-3574-0980 / MAIL: lucerne.festival.japan@kajimotomusic.com

